

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員（年俸制職員、研究課題「ガンマ線超新星残骸に付随する星間雲の探査：宇宙線生成率の追究」）募集

【募集人員】 特任研究員 1名

【職務内容】

国立天文台アルマプロジェクトでは、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「ガンマ線超新星残骸に付随する星間雲の探査：宇宙線生成率の追究」（2023年4月1日開始）を推進する特任研究員を募集します。本研究課題の採択者である岐阜大学・佐野栄俊助教の下、本特任研究員には勤務時間の100%を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、年1編以上の投稿論文の出版と年1件以上のALMA プロポーザルの提出に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：
（日本語名）ガンマ線超新星残骸に付随する星間雲の探査：宇宙線生成率の追究
（英語名）Investigating the interstellar gas associated with gamma-ray supernova remnants: Pursuit of the production rate of cosmic rays
- ・ 研究概要：
宇宙線の起源とその生成率の解明は、星間物質の化学進化を理解するうえで必要不可欠である。本研究では、ガンマ線超新星残骸に付随する星間雲を ALMA 電波干渉計により特定・定量し、宇宙線の生成率を明らかにすることを目的とする。具体的には、銀河内のあらゆる場所に位置する様々な年齢の超新星残骸について付随ガス密度を精密定量し、ガンマ線光度との比較を通して、被加速宇宙線の全エネルギーを見積もる。これにより、銀河系ならびにマゼラン雲の超新星残骸における宇宙線加速・拡散機構と、それら銀河における宇宙線生成率の包括的な理解を目指す。

【所属（勤務地）】 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学（岐阜県岐阜市）

※ 国立天文台で採用し、同日付で岐阜大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大学へ出向していただきます。

【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。月額35万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限55,000円/月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件等）

- ・ 勤務時間及び休日については東海国立大学機構の諸規則を適用します。
- ・ 週5日（月～金）8時30分～17時15分（休憩60分）を基本とする専門業務型裁量労働制勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、夏季休暇他）
- ・ 敷地内禁煙

【着任時期】 決定後、なるべく早い時期

【契約期間】

- ・ 本特任研究員の契約期間は試用期間（6カ月）を含めて原則2025年3月31日まで。ただし、本研究課題は、研究課題の開始（2023年4月1日）から1年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が1年間延長されて2026年3月31日までとなる場合があります。
- ・ ただし、着任前6か月以内に自然科学研究機構の有期雇用歴がある場合、通算有期雇用期間が10年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、一緒にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任研究員を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

※2004年4月以降国立天文台にプロジェクト研究員又は短時間契約職員のうち研究員としての通算有期雇用期間が5年を超える方はご応募いただけません。

【応募方法】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをPDFに変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-recruit_atmark_alma.mtk.nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

※PDF作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないようにしてください（メール一通につき最大10MB程度まで）。

※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く2日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。

※ メール の 件名 (Subject) には、応募する研究課題名を明記してください。

【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てをPDFに変換してください。
 - (1) カバーレター (研究課題名を明記すること)
 - (2) CV
 - (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと)
 - (4) 主要論文3編以内のPDFファイル
 - (5) 職務に対する抱負と計画
 - (6) 推薦書2通以上 (推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること)
 - (7) 速やかに連絡できる本人連絡先

- ・ 応募締切： 2023年9月8日 (金) 日本時間 15:00 必着

【採用の決定】

書類選考の上、面接をオンラインで行う場合があります。なお、面接に要する費用は応募者の自己負担となります。

採用は国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。

【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：
国立天文台 事務部総務課人事係
E-mail: job11-pjt-researcher1_atmark_nao.ac.jp (_atmark_を@に置き換えてください。以下同様。)
- ・ 研究内容に関わる問合せ：
岐阜大学 工学部 佐野栄俊 助教
E-mail: hsano_atmark_gifu-u.ac.jp
- ・ その他：
国立天文台 アルマプロジェクト ALMA 共同科学研究事業担当
E-mail: alma-grant-inquiry_atmark_alma.mtk.nao.ac.jp

【その他】

- 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台アルマプロジェクトが判断した上で認められることになります。
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。また、出産・育児・介護等のために休暇・休業を取得した場合には、履歴書にその旨、明記してください。業績を評価する際に配慮します。国立天文台の男女共同参画社会の実現に向けた取り組みの詳細は <https://www2.nao.ac.jp/~open-info/gender-equality/>を御覧ください。
- 応募に際していただいた情報は、この選考および事務連絡以外のいかなる目的にも使用いたしません。選考後、採用に至った方以外の応募書類は責任をもって破棄します。

【募集者名称】

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台

以上